

取 扱 注 意

記事解禁日指定

新聞 11月13日以後解禁

ラジオ、テレビ、ネット 11月12日14時以後解

報道機関各位

令和6年11月12日

青森県県土整備部港湾空港課

日中韓三ヶ国の「北東アジア港湾局長会議」次期開催地に青森港が選ばれました

日中韓三ヶ国は、令和7年秋に予定している三ヶ国による「北東アジア港湾局長会議」「北東アジア港湾シンポジウム」など一連の国際会議の開催地として、青森港を選定しました。

青森港は令和7年に開港400年の節目を迎えることから、青森県と青森市が同会議の開催候補地にエントリー。中国河北省の秦皇島市で開かれた第24回北東アジア港湾局長会議（令和6年10月30日）で日本政府が提案し、三ヶ国で合意しました。同シンポジウムのほか港湾施設の視察や、三ヶ国の港湾協会による「北東アジア港湾協会長会議」も同時に開催されます。

については、本件の意義にご理解をいただき、下記について広く周知をいただきたく、報道機関の皆さまに情報提供します。

#### 記

- (1) 開催日程 令和7年10月下旬または11月中旬のいずれか3日間
- (2) 主な会場 青森市内のホテルで調整中
- (3) 各会議の参加規模
  - ・港湾局長会議、港湾協会長会議…各国10～20人程度
  - ・港湾シンポジウム…三ヶ国で200人程度

#### (参考)

北東アジア港湾局長会議は、1995（平成7）年から年1回開催されていた日韓港湾局長会議をベースに、2000（平成12）年から中国が加わり拡大したもので、三ヶ国の港湾行政全般にわたって意見交換を行う会議です。

シンポジウムは、港湾局長会議開催国政府と港湾協会等との共催で、三ヶ国の港湾の課題に関する国民の理解と友好の促進を目的に開催され、官民の港湾関係者が参加して講演や討議が行われます。

港湾協会長会議は、三ヶ国の港湾協会の緊密な協力関係を構築するとともに、北東アジア地域港湾の持続的な開発と繁栄に向けた専門的な研究や討議、情報交換を目的として開催されています。

#### 報道機関用提供資料

|                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 担当課               | 県土整備部港湾空港課              |
| 担当者               | 港湾振興グループ 山形             |
| 電話番号              | 直通：017-734-9675 内線：6761 |
| 報道監 県土整備部 次長 中道 悟 |                         |